

10月16日：利益確定圧力が高まり、相場はもみ合いか

第3四半期決算が終わりに近づくとともに、直近の上昇から利益確定に動くことが予想され市場は揉みあう展開になると予想される。

ホーチミン取引所のVN指数は940.30ポイントで取引を終えた。2020年2月以来の高値となった。

銀行、消費財、ITセクターが相場を牽引する展開となった。

銀行セクターは4.9%高となった。ベティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、VPバンク（VPB）が相場を牽引した。

銀行セクターに続いたのは、IT(3%高)、消費財（1.9%高）、資材(1%高)、公益事業（0.5%高）などであった。

FPTグループ（FPT）、マッサングループ（MSN）はそれぞれ4.7%、17.5%高となった。

一方、医薬品、サービス、石油ガスセクターは相場の重しとなった。

上昇にも関わらず、証券各社は先行きに悲観的になっている。

VN指数は上昇を続けたが、943ポイントに近づくと売り圧力が高まった。

バリュエーションは割安でなく、PERは14.5倍になっている。上昇している銘柄に投資家が集中しているとVNダイレクト証券は述べた。

利益確定圧力が高まり、相場は940-950ポイントで上下するだろうと予想した。

多くの大型株は利益確定圧力に苦しんでいるが、長期的には銀行、証券、消費財、小売などの大型株は魅力的であると同社は述べた。

サイゴンハノイ証券はVN指数は直近5営業日上昇、HNX指数は11連騰していることを指摘。

しかし流動性は弱まっていることが買い余力が少なくなっていることを示していると述べた。

ベトナム株と世界の株式市場はパンデミック前の水準まで戻ってきており、さらなる上値の余地はほぼないと同社は予想した。

VN30 指数は 901.59 ポイントで取引を終えた。

ベトナム株は投資家の決算期待によってまちまちの結果となるだろうと予想される。

Maybank Kim Eng 証券のアナリストは豊富な資金と良い投資家心理が市場を上昇させた2つの要因であると語った。

それらの2つの要因で利益確定を吸収することが出来て短期的には市場が上昇した。

しかし長期的には、調整が入らないまま上昇を続けると市場は急落するだろうと警告した。

ベトナム株は大型株が牽引しており短期的には悪影響が無かったと同氏は述べた。

中期的にはそのような上昇は不安定だと同氏は述べた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。